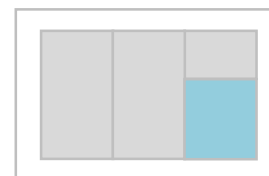


<1年生対象>

1Aセメスターの成績表の見方



(1) 必要単位数・不足単位数

この項目は表示されません。

1年次の1年間を通じて在学していなかった者を除き、1年生から2年生に進級するための要件はありません。

※本人の学修計画上の理由により、自主的に留年を希望する場合は、定められた期間に「自主留年届」を提出することにより、留年することができます。

(2) 平均点

進学選択に向けた参考とするため、進学選択に用いられる評点と同じ計算方法による基本平均点が記載されています。(履修単位数が以下表の単位に満たない場合(2S1タームで開講される必修科目も含む)、不足分の単位は、不合格科目の場合はその不可点が、履修していない場合は0点が算入されています。この取り扱い進学選択実施時と同様です。)

	文一	文二	文三	理一	理二	理三
基礎科目						
既修外国語 ※1	5	5	5	5	5	5
初修外国語	6	6	6	6	6	6
情報	2	2	2	2	2	2
身体運動・健康科学実習	2	2	2	2	2	2
初年次ゼミナール文科	2	2	2	—	—	—
社会科学 ※2	8	8	4	—	—	—
人文科学 ※3	4	4	4	—	—	—
基礎実験 ※4	—	—	—	3	3	3
数理科学 ※4	—	—	—	12	10	10
物質科学 ※5	—	—	—	10	10	10
生命科学 ※6	—	—	—	1	4	4
総合科目 ※7 ※8	21	21	25	15	15	15
計 (取得単位数欄に記載★)	50	50	50	56	57	57

★「取得単位数」欄にはこの単位数が一律に記載されますが、現時点での実際の取得単位数とは異なります。(平均点を算出するために用いた、重率1で算入された単位数(上表の単位数)が表示されています。)なお、休学等により上表の計と異なる単位数が記載されている場合があります。

※1 英語・日本語以外を既修外国語として履修している場合は、6単位で計算しています。

※2 社会科学は、科類の要件を含めて成績上位8単位(文三生は上位4単位)で計算しています。

※3 人文科学は、科類の要件を含めて成績上位4単位で計算しています。

※4 基礎実験および数理科学は、任意選択科目を除いた単位数で計算しています。

(基礎実験のうち、2S1タームに開講される必修科目1単位分については0点で計算されています。)

※5 物質科学のうち、2S1タームに開講される必修科目2単位分については0点で計算されています。

※6 生命科学のうち、2S1タームに開講される必修科目1単位分(理科一類生)については0点で計算されています。

※7 総合科目は、文一・二生は成績上位21単位、文三生は上位25単位、理科生は成績上位15単位(いずれも系別の単位取得条件を含む)で計算しています。

※8 総合科目D系列「スポーツ・身体運動実習」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ」、「スポーツ・身体運動実習Ⅰ(PEAK)」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ(PEAK)」については、基本平均点に算入されているのは、合わせて2単位までです。

※9 基本平均点計算において、重率0.1で計算される科目は、以下の科目です。

上記以外で1Aセメスターまでに単位取得した基礎科目

上記以外で1Aセメスターまでに成績が付与された人文科学ゼミナール・自然科学ゼミナール・総合科目(不合格科目を含む)

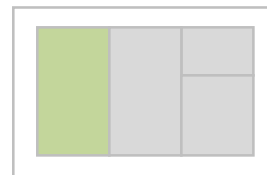
※10 基本平均点計算において重率1で計算した科目の横には「*」を表示しています。

(2単位科目のうち1単位のみ算入する場合は科目の横に「△」を表示しています。)

なお、上記の単位のうち、「既修外国語、初修外国語、身体運動・健康科学実習」については、科目区分ごとの平均点が参考に表示されています。

(3) 平均合格科目の表示

平均合格科目について、1 Aセメスター終了時の成績の原評価（点数）公開以降（3月末頃を予定）に、各自、平均合格を満たしているかを必ず確認すること。（⇒必要に応じて、次Sセメスターで必要な科目の履修をすること）



<平均合格科目とその条件>（次ページ計算例および『履修の手引き』p. 42 参照）

※ 既修外国語（英語・日本語）単位数5単位：条件1. かつ条件2.

条件1. 1 Sセメスター（1S1 ターム・1S2 ターム）～1 Aセメスター（1A1 ターム・1A2 ターム）の成績の平均が50点以上

条件2. 1 Aセメスター（1A1 ターム・1A2 ターム）の成績の平均が50点以上

※条件1、条件2のいずれも単位数を加味した加重平均による。（次ページ計算例参照）

※ 既修外国語（英語以外）および初修外国語 単位数6単位：条件3. かつ条件4. かつ条件5.

条件3. 1 Sセメスターの成績の平均が40点以上

条件4. 1 Aセメスターの成績が40点以上

条件5. 1 Sセメスター～1 Aセメスターの成績の平均が50点以上

* なお、既修日本語を初修外国語相当で履修している場合もこの条件で考える。

※ 身体運動・健康科学実習 単位数2単位：（条件）2つの実習の成績の平均が50点以上

<例>

科目	教員	開講期間	単位	成績
既修外国語				
英語			5	可
*英語一列①	×× ××	22.04～22.06		優
*英語一列②	×× ××	22.09～22.11		不可
*英語二列W	×× ××	22.04～22.07		良
*英語二列S	×× ××	22.11～23.01		欠席
初修外国語				
スペイン語			-2	-38
*スペイン語一列①	×× ××	22.04～22.08		可
*スペイン語一列②	×× ××	22.09～23.01		欠席
*スペイン語二列	×× ××	22.04～22.08		可
身体運動・健康科学実習			2	良
*身体運動・健康科学実習	×× ××	2022		良
*身体運動・健康科学実習	×× ××	2022		良

1 Sセメスター～1 Aセメスターの成績の平均が50点以上でも（既修英語の場合は）1 Aセメスターの成績が不合格の場合、2 Sもしくは2 Aセメスターに必要な科目を「他クラス聴講」により履修しなければならないので注意すること。この場合、5単位「可」と表示されていますが、1 Aセメスター科目が50点を下回っているため、平均合格していません。
【注意！】

マイナス表示になっている場合、不足単位数と、平均合格に対する不足点を意味します。この場合、平均合格に必要な150点（3科目×50点=150点）に対し、38点不足していることを表しています。
※「英語」は1単位科目と2単位科目（英語二列W）が混ざっているため、平均合格に必要な250点（5単位×50点）に対し何点不足しているかが表示されます。

※マイナス表示になっていない場合（「可」と表示されている場合）でも、平均合格していないケースがあるので留意すること。（上記参照）

平均合格の対象科目は、講義ごとの単位数は表示されません。

(例) 以下のような成績の場合における平均合格の確認

※成績の原評価(点数)公開以降(3月末頃を予定)に必ず確認すること。

必要に応じて次Sセメスターで必要な科目の履修をすること。

科目	開講期間	単位	成績
英語一列①	22.04~22.05(1S1)	1単位	50点
英語一列②	22.09~22.11(1A1)	1単位	55点
英語二列S	22.06~22.07(1S2)	1単位	60点
英語二列W	22.09~23.01(1A)	2単位	43点

◎条件 1.

1 Sセメスター(1S1ターム・1S2ターム)~1 Aセメスター(1A1ターム・1A2ターム)の成績の平均が50点以上

【計算式】

$$\frac{(50点 \times 1単位) + (55点 \times 1単位) + (60点 \times 1単位) + (43点 \times 2単位)}{1単位 + 1単位 + 1単位 + 2単位} = 50.2点$$

◎条件 2.

1 Aセメスター(1A1ターム・1A2ターム)の成績の平均が50点以上

【計算式】

$$\frac{(55点 \times 1単位) + (43点 \times 2単位)}{1単位 + 2単位} = 47点$$

この例の場合、条件1は満たしていても条件2を満たしていないので、平均合格はしていません。